



高橋 正浩 議員
(無会派)



一般質問

能登島地区のインフラ復旧について

質 ツインブリッジ、広域農道、農地の復旧の見通しと今後の対応、次の有事に備え能登島が孤立しない対策を伺う。

答 ツインブリッジのとは応急工事により緊急車両や地域住民の交通確保をすべく、県では対策工法の検討を踏まえ、7月から仮設道路整備に着手し、令和7年12月までには暫定供用できるように進めており、今後も県と協議しながら取り組んでいく。能登島野崎町から能登島長崎町間の広域農道については地質調査結果を踏まえ詳細設計を行い、令和7年1月頃の工事発注を目指しており、通行止めの解除については令和7年8月頃を予定している。

管理している港湾での被害は甚大で、復旧件数も多く、時間を要することから、生活や漁業活動などに支障が生じないよう、地元町会や漁業協同組合などに相談の上、応急工事を行っている。

農地被害箇所は52件のうち24件は復旧が完了したが、営農中の農地について稲刈り後に被害の再確認を予定している地域もあり被害箇所は増える予想であり、農家をはじめ関係団体などに御協力をいただきながら、一日でも早い復旧に努めていく。

県において一部区間で水道管を耐震化する計画と聞いており、七尾市で管理する能登島大橋駐車場から須曾浄水場区間についても、県との調整を行いながら計画的に耐震化を進めていきたい。

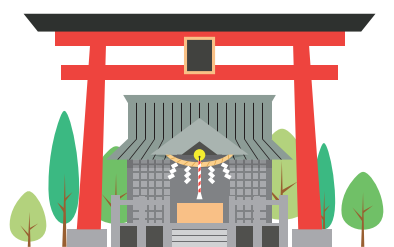
一般質問

復興基金について

地域コミュニティ施設の早期再建を！



原田 一則 議員
(灘会)



質 地域コミュニティとしての役割を担う寺社などの神輿蔵、鳥居、拝殿や本堂、檀家の集会所等の修繕や改修に係る復興基金の活用について、県は市町から要望があった場合、熊本地震を上回る補助率を4分の3とし、限度額も1,200万円に拡大して再建支援を行うとしているが、本市としてどの程度、県への要望を考え、また市独自の支援をどのように考えているのか伺う。

答 県への令和6年度の要望分として、寺社等建て替え3件、修繕補助金の合計額で3億825万円を要望している。補助の対象となる施設の要件や補助の対象となる経費等の詳細については、現在、県の方で検討しているところであり、まだ明示されていない状況である。
なお、県の方からは、市独自の支援については、市町ごとにその支援水準に大きな差が生じないよう、能登半島地震復興基金の枠配分などの財源を活用した市町独自の拡充は原則不可というふうに聞いている。

また、集会施設の修繕においては、まず市の方で設けている集会施設再建事業補助金を活用していただいた上で、費用負担が残る部分については、県の地域コミュニティ施設等再建支援事業を活用していただくことになるといふふうに考えている。